

■野口さんのグループのインタビュ―

野口 今日、中川さんに、大好きな水泳についてききたいと思います。よろしくお願ひします。

中川 よろしくお願ひします。

野口 自己紹介で、スイミングクラブに所属していると話してましたね。ぼくは、水泳が苦手なので、くわしくききたいと思っていました。中川さんが水泳を始めたのは、いつですか。

中川 五さいの春です。

野口 五さいからということは、もう五年以上も続けているのですね。練習は、どれくらいしていますか。

中川 週に三日です。だいたい学校から帰った後に、クラブのプールで泳いでいます。

野口 週に三日も練習しているんですね。学校から帰った後の練習は大変そうですね。

中川 そうですね。練習のあった日は、くたくたになります。

野口 ぼくもサッカークラブに所属していますが、練習は土曜日や日曜日の午後が中心です。それでも、練習のあった日は、つかれてしまって、晩ご飯を食べるとすぐになてしまいます。中川さんは、練習を休みたいと思ったことはありませんか。

中川 そうですね。大変に思うこともありますが、休まずに練習に行くことを目標にしています。泳ぐのがとても好きなので、練習を続けられているのだと思います。

野口 そうなんです。中川さんがそんなふう練習に打ち込むようになったきっかけは、なんだったのですか。

中川 三年生の夏に、家族で水族館に行って、イルカのショーを見たことです。そのとき、イルカと泳ぐイベントをやっていて、私は外から見ただけだったのですが、それがとても楽しそう。もっとうまく泳げるようになって、いつかイルカといっしょに泳いでみたいと思ったのです。

野口 そうなんです。今でも、その思いは続いているのですか。

中川 はい。もちろんです。

野口 そのために、もっともつとうまく泳げるようになりたいと思って、練習をがんばっています。もしかしたら、イルカといっしょに泳いでみたいと思って練習をがんばるようになったことが、水泳を好きになったきっかけなのかもしれません。

野口 へえ。水泳を好きになったきっかけが、練習に打ちこむようになったことと関係しているんですね。

中川 中川さんにとって、水泳とはなんですか。

中川 ううん、難しいですね。どう答えればいいでしょうか。

野口 すみません。それでは、少し質問を変えます。泳ぐ楽しさを感じるの、どういうときですか。

中川 えっと……そうですね。

野口 ふだん練習しているときは、苦しいと思うことも多いのですが、きれいなフォームで泳げたときは、不思議と、水といっしょになったような感じがして、いくらでも泳げそうな気がするがあります。そういうときは、泳ぐのって楽しいなと思います。

野口 それから、新しいことに取り組んで、それができるようになったときは、すぐくうれしいし、水泳を続けてきてよかったと感じます。例えば、最近、体を回転させて、足でかべをけてターンをする方法ができるようになりました。ターンがきれいにできるようになってから、前よりもっと泳ぐのが楽しくなりました。

野口 なるほど。中川さんが水泳についてどう思っているかがよく分かりました。今日はどうもありがとうございました。